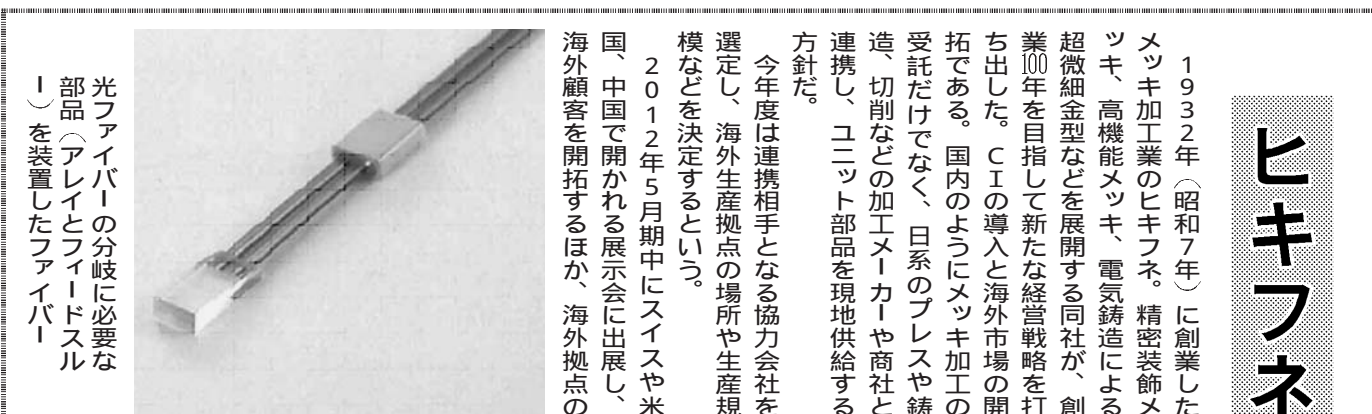


100年企業を目指して

— 東京・下町 伝統・革新の技術・製品・サービス —



ヒキフネ

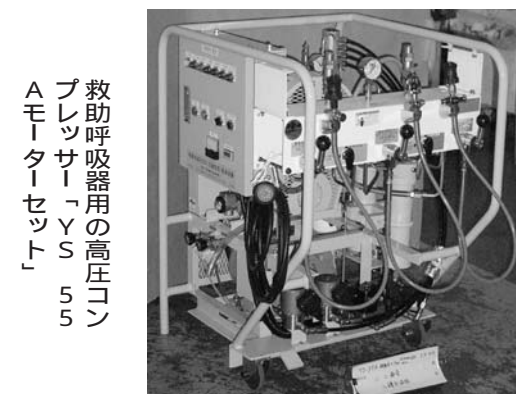
1932年(昭和7年)に創業したメッキ加工のヒキフネ。精密装飾メッキ、高機能メッキ、電気鍍金による超微細金型などを展開する同社が、創業100年を目指して新たな経営戦略を打ち出した。C.I.の導入と海外市場の開拓である。国内およびメッキ加工の受託だけでなく、日系のプレスや鋳造、切削などの加工力や商社と連携し、ユニット部品を現地供給する方針だ。

メッキ加工の高付加価値化、海外進出も

設置場所については今年11月までに中国やタイ、ベトナムなどの現地調査や情報収集を終える予定だ。同社はこれまで時代や環境の変化に応じて事業領域を拡大してきた。パッキンや金具などへの精密装飾メッキは、携帯電話やデジタルカメラの筐体などへ受注領域を拡大。また、メッキ被膜自体に通電性や耐水性などの付加価値を付ける機能メッキでは、例えば光ファイバーの先端に金メッキを施すだけでなく、光の分岐に必要なアレイをファイバーに取り付ける事業などにも乗りだし、収益基盤を強化中だ。

4代目の石川英孝社長は「伝統と最先端技術の融合」「メッキ加工からユニット加工への事業拡大」、そして「海外市場の開拓」を目標に掲げる。また、このほど新たな企業ロゴマークを導入した同社。一般消費者向け自社製品を開発する計画もあり、新たな成長軌道を描くためブランド力の強化にも動き出す。

【社名】株式会社ヒキフネ
【代表者】石川英孝社長
【所在地】〒116-0003 東京都荒川区西日暮里1-3-3
【TEL】03-3696-1981
【FAX】03-3696-4511



潜水服から産業用コンプレッサーまで

同社の高圧コンプレッサーは潜水用のほか消防救助用にも使われ、最近では救急救助で使うボートに空気を充填する呼吸器用高圧コンプレッサー17台を航空自衛隊に納入した実績がある。消防、海上保安庁、漁業、レジャー用など、実に様々な販路を築いてきた。さらにも同社のコンプレッサーは空気のほかヘリウム、窒素ガスなど不活性ガスも圧縮でき、物理実験用として国立大学でも数多くの導入事例を誇る。一方、産業用高圧コンプレッサーは自動車の油圧系統での漏れや、エアコンの冷媒漏れを確認する漏れ試験用に使われ、高い評価を受けている。同社はこうした事業領域の拡大に伴い、厳しい安全テストを徹底してきたほか、充実したアフターサービスにより万が一のトラブルにも備えている。受注生産同社製品は特殊仕様にも柔軟に対応し、高圧コンプレッサーのスペシャリストとしての地位を築いてきた。

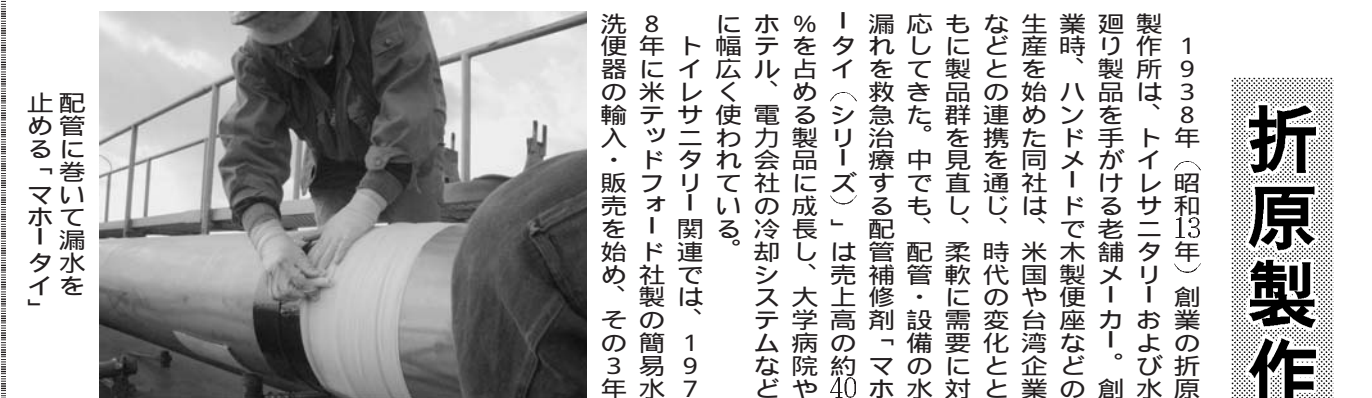


「商社」「製造」2部門を運営、海外へ飛躍

1947年(昭和22年)創業の山田マシンツール。機械工具商社として発足した同社だが、刻印(マーキング)機の製造・販売も手がけるメーカー機能を併せ持つまで事業領域を拡大してきた。さらにマーキングも国内から海外へと拡大し、2008年にはタイに現地法人を設立。同社製刻印機を導入している日系自動車メーカーへの現地メンテナンス体制を築いたほか、機械工具の現地販売を強化中だ。機械工具商社としての同社は、96年にローレット工具では欧州市場でトップシェアのスワロフスキ社と、02年にはネジ転造工具でアルコ社とそれぞれ国内総代理店契約を結び、顧客の生産効率化につながる独自性を持つた高性能工具の窓口として、わが国産業界を側面支援してきた。一方、刻印機メーカーとしての同社は、これまで自動車・機械・電機など各業界に数多くの製品を導入した実績を誇り、グローバル化する製造業に役立つ製品を適時適切に供給してきた。顧客に最適な刻印機を提供することを最重要視し、昨年には刻印機の歴史や技術、製品などを紹介するサテライトサイト「THE マーキング」を立ち上げた。刻印機を扱う商社・メーカー30社以上のホームページと相互リンクしており、顧客は製品を比較検討できる。8月中旬には自社工場に刻印機のショールームも開設する予定で、ここでも自社製のほか他社製の刻印機も展示し、顧客に総合提案する計画だ。海外事業では刻印機の核部品を日本から取り寄せ、組み立てや制御は現地日系メーカーに委託することで、高品質の製品を低コストで提供できる体制が同社の強みだ。



【社名】山田マシンツール株式会社
【代表者】山田雅英社長
【所在地】〒110-8575 東京都台東区台東1-23-6
【TEL】03-3834-5041
【FAX】03-3834-6165



折原製作所

配管の漏水トラブルも救急治療

1938年(昭和13年)創業の折原製作所は、トイレサニタリーおよび水回り製品を手がける老舗メーカー。創業時、ハンドメイドで木製便座などの生産を始めた同社は、米国や台湾企業などとの連携を通じ、時代の変化とともに製品群を見直し、柔軟に需要に対応してきた。中でも、配管・設備の水漏れを救急治療する配管補修剤「マホータイ(シリーズ)」は、売上高の約40%を占めるアレンに成長し、大学病院やホテル、電力会社の冷却システムなどに幅広く使われている。トイレサニタリー関連では、1978年に米テッドフォード社製の簡易水洗便器の輸入・販売を始め、その3年後の81年からは同社製の携帯用水洗トイレの日本総代理店に。82年には台湾の協利工場で自動立ち上がり便座を生産を始め、84年に米マイクロファース社と汚物特殊浄化システムに関する技術提携を結び、生産を開始した。その時々々の需要に対応、さらには需要を先取りする形で、シャワーを流す女性用トイレ用節水器具、簡易水洗便器、工事用トイレカーなどを取り扱っている。そして「マホータイ(シリーズ)」は、90年に米ネプチューン社と同製品で東南アジア総代理店契約を結び、日本市場に投入した。同製品は包帯のように状態で、強度のあるガラス繊維布に特殊レジンを含ませた超短時間補修剤。水漏れがしているパイプの傷口にラバーパッチを貼り、オリステープで仮止水し、その上を水に浸したマホータイを包帯のように巻くだけ。水圧5kg/cm²平方センチメートルまで、水が噴出した状態でも補修できる。配管・設備の「安心・安全」を側面から支援している。



【社名】株式会社折原製作所
【代表者】折原征一社長
【所在地】〒116-0003 東京都荒川区西日暮里1-3-3
【TEL】03-3805-0109
【FAX】03-3805-0109

設備・配管の漏水トラブルを未然予防・救急治療!

折原製作所のマホータイシリーズは、あらゆる設備、配管のトラブルをすばやく解決します。補修できる製品は、鉄管、ステンレス管、銅管、塩ビ管、ポリプロピレン管、ポリエチレン管、鉛管、コンクリート製品などです。水だけでなく、給湯、蒸気、油、化学薬品などの液漏れ補修にも、ご使用になれます。

※水以外の用途にお使いの場合は、お問い合わせ下さい。

水圧5kg/cm²迄の漏水OK **ISO14001認証登録**

応急補修・防錆・保護・補強に!

「マホータイ」は(株)折原製作所の登録商標です

Orihara & Orix 株式会社 折原製作所

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里1-3-3
電話: 03-3805-0101

※マホータイ&オリステープは、国際特許(日本、米国、中国、香港、台湾、韓国、欧州特許)を取得済みです。 ※マホータイは(株)折原製作所の登録商標です。類似品にご注意ください。

Q なぜ東亜潜水機のコンプレッサーは、選ばれ続けるのか?

オイル混入のない きれいな高圧ガスが つくれるから

小型高圧無給油式は
東亜潜水機だけです!

高圧コンプレッサーの専門メーカー
東亜潜水機株式会社

東京工場 コンプレッサー事業部 〒116-0003 東京都荒川区南千住4-1-9
Tel.03-3803-2253 (代表) Fax.03-3803-2255

『Marking Think Tank』 THE マーキング kokuinki.jp マーキング機器選定ガイドブック

「この一冊でマーキング機器の最適選定が簡単にできる」

YAMADA60年余りの刻印種類や選び方をまとめた一冊(38P)

14通りのチャート形式で簡単に刻印機を選ぶ事が出来ます。

是非この1冊を見て下さい。
THEマーキングの機器選定ガイドブックがあれば、状況に合った刻印を簡単に選べます。
今だけ期間限定配布中!

営業部 秋山

刻印総合情報サイト THE マーキング
URL: <http://www.kokuinki.jp>
マーキングシステム事業部 TEL.048-851-1122